

尿路上皮癌
根治切除不能

アベルマブ療法レジメン

根治切除不能な尿路上皮癌 化学療法後の維持療法

D-27

< 14 日間隔・ PDまで >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4~7日目	第8~14日目	第15日目
治療内容							
検査	採血	○					○
	胸部X線	○					○
診療	副作用の問診	○					○
	検査結果	○					○
治療中止基準	①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G2以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>3×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ベースライン ⑦G2以上の下痢 ⑧自己免疫疾患の発症疑い	—	—	—	—	—	—
プレメ ディケー ション 点滴	アセトアミノフェン500mg錠 1錠 (バベンチオ投与30~60分前)	○					○
	① 生食 50ml +ポララミン 点滴静注【30分】	↓					↓
	② 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓
	③ 生理食塩250ml +バベンチオ 10mg/kg 点滴静注【60分】 フィルター付きルートで	↓					↓
	④ 生食 50ml 点滴静注【全開】	↓					↓

看護のPoint!!

免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意（特に初回投与時に発現しやすい）

Infusion reaction予防のためアベルマブ投与30~60分前にアセトアミノフェンを服用させる

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）